

【現代風“組織一丸”マネジメント】シリーズ

組織力を左右する社内人間関係問題対処法

難しい人間関係の基本的な部分を見るための『まねじめんと』

【従業員の最大の関心事の一つ】

最近、従業員の最大の関心事の一つに、“企業内の人間関係”が挙げられることが増えたようです。しかも、その“人間関係”は、就職先選びの重要な動機になるばかりではなく、働く際の“やる気”自体を大きく左右されると言われるのです。

実際“人間関係”が悪化した場合、様々な深刻な問題が生じています。

【以前よりも数段難しくなっている？】

その問題とは、従業員の突然の退職や“心の病”、管理者との対立によるパワハラ訴訟や、男女間のセクハラなど、非常に多彩とも言えます。

『以前は問題にもならなかった』と言いたくなるようなことが深刻なトラブルに発展する時、『それだけ今、人間関係が難しくなっている』と考えるべきだという気がして来ます。

【そもそも“人間関係”とは？】

しかし、そもそも“人間関係”は、どのような問題を企業組織に持ち込むのでしょうか。そして、その問題は、どう対処すれば“解消”、あるいは“軽減”できるのでしょうか。そんな視点から今、組織を見直すべき時なのかも知れません。

【あまりにも広過ぎるテーマ？】

ただ、難しいのは“人間関係”というテーマが、あまりにも広過ぎて、問題を捉えるにも、対処策を考えるにも、なかなか“的が絞れない”ことではないかと思えます。

そこで、特定の“人材”に焦点を当て、まずは“人間関係”の悪化と改善の“様子”を具体的に観察することからお勧めしたいのです。

【一つの事例を掘り下げる意義】

確かに一つの例ですべては語れない、と言いたくなります。もちろん“問題”自体は、人や組織により千差万別でしょうが、その割には“解決の糸口”は、案外“共通している”という指摘も少なくありません。

そのため、多くの例を見るより、一つの事例を掘り下げの方が、実りが大きいことが“あり得る”わけです。

【ご希望者は完全版購読をお勧めします！】

そんな趣旨から“一つの例”を簡潔にまとめたマネジメントレポートをご用意しました。

定期購読(有料)希望者には当レポートの完全版を毎月お送りしますので、下記までご一報を。



確かに“組織内の人間関係”問題は、古くからありましたが、昨今では、従来とは大きく違う側面から、この問題を考え直してみる必要がありそうですね。

そもそも、なぜ“職場”という公の場で、一見プライベートにも見える“人間関係”が問題になるのでしょうか。そして、そこで“何が問題”になっており、“どういう対処法”があり得るのでしょうか。

一つの事例から考えてみたいと思います。

少数精鋭でビジネスに取り組む皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぶりめんとニュース』にご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所  
983-0834 仙台市宮城野区松岡町 20-61

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>

わたくしたちは、“ヒト”に関する重要課題の提言を通じて、皆様方の経営をご支援申し上げます！